

調査結果速報

豊岡市コウトリ共生部 農業共済課
豊岡農業改良普及センター
たじま農業協同組合

◆ 調査結果(豊岡・城崎地域)

《 紹枯れ病・いもち病 》

No.	地区	調査ほ場	品種	田植え	紹枯れ病 発生程度	葉いもち病 発生程度	穂いもち病 発生程度
1	佐野	コタンダ 15	コシヒカリ	5/17	少	少	無
2	下鶴井	ウエツボ 1262	マンケツモチ	5/18	少	無	無
3	栄町	シモナカドオリ 1041-1	コシヒカリ	5/16	少	無	無
4	福田	シカガツボ 69-1	コシヒカリ	5/21	無	無	無
5	大篠岡	ニシソテ 930-1,2	コシヒカリ	5/17	無	少	無
6	清冷寺	カイワラ 400	コシヒカリ	5/16	無	無	無
7	大谷	クゴタ 1057	コシヒカリ	5/14	少	少	無
8	氣比	ノダイ 1827	コシヒカリ	5/3	少	無	無
9	森尾	マスダ 29	コシヒカリ	5/12	無	少	無
10	来日	ナカダ 507	コシヒカリ	5/5	少	無	無
11	今津	ナガトウリ 27-1	コシヒカリ	5/11	無	無	無

(※25株調査)

《 ウンカ類・カメムシ 》

No.	地区	セジロウンカ 発生程度	トビイロウンカ 発生程度	カメムシ 捕虫数(頭)	備考
1	佐野	少	無	2	
2	下鶴井	少	無	0	
3	栄町	少	無	0	
4	福田	少	無	3	
5	大篠岡	無	無	0	
6	清冷寺	少	無	0	カメムシの要防除基準は0.75頭以上
7	大谷	少	無	3	
8	氣比	無	無	0	
9	森尾	無	無	0	
10	来日	少	無	26	
11	今津	無	無	0	

(※10回網振り)

◆ 生育状況

7月以降の日照不足により、生育に多少バラツキが見られますが、出穂時期は概ね平年並みとなっています。

◆ 病害虫発生状況と今後の管理について

☆ いもち病

葉いもち病の発生は、11ほ場中4ほ場で確認されました。今後の天候により、穂いもち病の発生も予測されるので、ほ場をよく観察しましょう。

☆ 紹枯れ病

紹枯れ病の発生は、11ほ場中6ほ場で確認されました。稲の茎の上部まで病斑が進展していないかよく観察しましょう。

☆ ウンカ類

ウンカの発生は少ない状況です。

☆ カメムシ類 <要防除水準:10回網振りで0.75頭以上>

今回の調査では、11ほ場中4ほ場でカメムシの発生が確認されました。必ず仕上げ防除を実施しましょう。畔草は、雑草に穂をつけないようにこまめに草刈りを行いましょう。

☆ 水管理

出穂後の水管理は、土壤水分を保つ程度に飽水管理を行いましょう。早期落水は品質の低下や減収につながりますので、ほ場が乾燥するようであれば走り水をするなどして、品質の良い米づくりに取り組みましょう。

☆ 農薬を散布する場合、隣接する野菜ほ場などに飛散しないように注意しましょう。

◆ 参考 (一般栽培ほ場の場合)

出穂後 7~10日	スタークル粒剤 又は スタークル粉剤DL	カメムシ類、ウンカ類
収穫14日前 までに	カスラブサイド粉剤3DL	いもち病